

## 【発起人・弓井茉那 (BEBERICA 代表) より】

ベイビーシアターはこれからの発展の可能性がたくさん詰まった芸術です。アジアでベイビーシアターを実践している方が繋がるのが、これからのベイビーシアターをよりおもしろく意義深く発展させることになると信じています。  
そのため、この企画は継続開催を目指しています。

一年目の第一のテーマは「出会う、知る」です。

城崎温泉街に位置する、城崎国際アートセンターの自然豊かな環境のなかで、日本、アジアでベイビーシアターに携わる人たちが出会い、お互いのバックボーンを知って、活動を深く知ることを大切にしたいと思っています。またショーケースを共同で制作、発表し、観客からのフィードバックを得る共通体験を経て、更に深く「出会う」ことを目指しています。

第二のテーマは「with コロナのベイビーシアターをみんなで考える」です。

新型コロナウイルスと共存したベイビーシアターの在り方は、全世界のアーティストやコーディネーターがはじめて直面している課題です。今回は、参加者みなでこのテーマについて考えることにより、一人ではたどりつけないやり方や問いを創造できたらと思います。

また、本企画では、「みんなでつくるミーティング」という考えを大切にしています。

「運営とゲスト」のように分かれるのではなく、参加者みなでつくる場でありたいと考えます。「参加者それぞれが持っている知や考え方に価値がある」という考えの元、ワークショップで外部講師は呼ばず、参加者の知識や経験を共有するワークショップを考えています（8月22日のワークショップは、本企画参加の方以外に、広く地域の方々にも公開するワークショップです）。

奮ってご応募くださいませ！

## 【進行役】

BEBERICA 代表、演出、俳優  
弓井茉那

京都市生まれ。京都造形芸術大学、座・高円寺劇場創造アカデミーで舞台芸術と演劇教育を学ぶ。乳幼児とおとなを観劇対象とする演劇作品をつくるカンパニー、BEBERICA(ベベリカ)代表。創作活動に加えて子ども対象の演劇ワークショップの企画、コーディネート、進行を行っている。2017年デュッセルドルフの劇場・Düsseldorfer Schauspielhaus 児童・青少年劇場で演劇教育者として勤務。同年南アフリカで行われたASSITEJ世界会議にて、次世代の児童演劇担い手のプラットフォーム『Next Generation』メンバーに選出され参加。2018年までSTスポット横浜地域連携事業部でワークショップコーディネーターとして勤務。2019年まで「マレビトの会」プロジェクトメンバー俳優部。